

## 「民主主義」と「学びあひ」

私の周りの多くの人たちは「民主主義＝多数決」と混同して考えています。民主的に行われている学級会や生徒会、場合によっては議会が多数決で決められているからだと推測されます。

でも、私は違う意見です。多数決で決める事が民主主義ではないです。「各人いろいろな考えがあり、その違いを知る事！」これが民主主義の本質です。民主主義の成功のためには、私たち有権者全体が、恐怖や怒りなどの感情、個人的な利害、マスクミ等による情報操作や扇動等に惑わされず理性的な意思の決定ができる社会が不可欠です。その上で、前回の vol.19「政治って何だろう？」で述べた事と合わせての話になるのですが、地域を作っていく事は行政と市民の「学びあい」が大切なのではないか。と思います。今までは、批判されない、批判されにくい政策を目標に据え、ドン！とやっていたように思います。ひとつひとつは良い政策のはずなのに、全体で見ると、何故かあまり、幸せを享受できない、モヤモヤした感覚を受ける印象です。ただ、そうではなく、実現が困難であったり、ゴールが見えにくく、批判対象になるものでも、みんなで考えながら、調整しながら政策をすすめ、その過程でみんなが本当の目標を理解していき、ひとつひとつの要素（政策）が全部有機的に結び合い、大きな構想になる：そんな取り組み姿勢が肝要だと思っています。そんな取り組み姿勢で街づくりを行っていく市川市にしたいです。市川市内外を含め、いろいろな方に話を聞く機会がありますが、誤解される事もあり、試行錯誤の毎日です。有機的に結びついた政策の上で、みんなが幸せを享受できる市川市にする事が私の目標です。前々回に続き、政策論とは違い大上段に構えた難しいテーマである事は重々承知しているのですが、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「今後もベストな状態の市川市」を思い描き、話し合ってみて下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成24年4月9日

増田好秀